

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	地理A	2	1	高等学校新地理A（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院）	地理資料コンプリート （帝国書院）

到達目標	現代世界の地理的な諸問題について、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> 作業を通じて地球儀と地図の違いに気づかせ、目的に適した地図を用いなければならないことを考察させる。 地形については地形図の作業をおこなうことによって種々の地形の特徴を理解させ、地形図の読図に慣れさせる。 世界の諸地域について、資料集の写真などを用いて文化の違いを理解させる。その際に2年次の世界史の内容も意識し、その基礎的な学習となるようにする。 白地図の作業を数多く行うことによって、地図帳で調べることを習慣化し、自ら調べ考察することを身につけさせる。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	球面上の世界と地域構成	<ul style="list-style-type: none"> 地球表面の大陸と海洋の分布を理解する。 緯度・経度の概念と、球面上での位置関係を正しく理解する。 地球儀と地図の違いを理解し、地球表面の大陸と海洋の形状や各国の位置関係・方位を正しく理解する。 様々な世界地図の特徴と用途について理解する。 時差の計算方法と、世界の時刻のしくみを正しく理解する。 国家の領域を正しくとらえるとともに、地域区分の概念を理解する。 国家間の結合の変化や現代世界の経済機構をとらえるとともに、国連の役割を理解する。 世界の交通網に関する資料を通して、世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考察する。 貿易に関する資料を通して、世界諸地域間の結びつきの現状と地域差を考察する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	結びつく現代世界		
6月	人間生活を取り巻く環境	<ul style="list-style-type: none"> 人々の生活・文化は自然環境と社会環境の影響を受けることを理解する。 世界の諸地域の自然環境を形成する地形を、生活・文化と関連付けて考察する。 世界の諸地域の自然環境を形成する気候を、生活・文化と関連付けて考察する。 世界の諸地域の社会環境を形成する言語や宗教などを、生活・文化と関連付けて考察する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
7月			
8月			
9月	世界の諸地域の生活・文化1	<ul style="list-style-type: none"> 中国・東南アジア・インドの人々東南アジアの人々のそれぞれの生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
10月		<ul style="list-style-type: none"> 中央アジア・西アジア、アフリカ、ヨーロッパのそれぞれの人々の生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。 	
11月			
12月			
1月	世界の諸地域の生活・文化2	<ul style="list-style-type: none"> アメリカ合衆国、ラテンアメリカのそれぞれの人々の生活・文化の特色や動向を考察する視点や方法を習得する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
2月			
3月			

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	世界史A	2	2	現代の世界史（山川出版社）	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）

到達目標	近現代の世界史の流れを理解させ、現代世界の特質と課題を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	近現代の世界史の大きな枠組みと流れについての理解と知識の習得に努める。世界の文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察し、その内容を表現する。近現代の世界史に関心を持ち、派生する事項を意欲的に追求する。写真、映像、統計など諸資料を活用し、的確に情報を読み取る。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	近代の欧米社会	市民革命とナショナリズムが欧米社会に与えた影響、特質、その後の世界への影響を考察する。	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物 レポート・発表等
5月	ヨーロッパのアジアへの進出	欧米の進出をうけて、近代化への対応をせまられるアジア諸地域の動向と変化を考察する。	
6月			
7月			
8月	現代社会の特徴と二つの世界大戦	帝国主義列強の覇権争いと2つの大戦を経て、ソ連、アメリカの二大超大国の冷戦に至る20世紀前半を振り返る。	
9月	冷戦の時代世界	東西両陣営のイデオロギー対立と第三世界の登場、多極化と緊張緩和の時代を見渡し、冷戦下の日本の状況にも触れる。	
10月			
11月			
12月			
1月	グローバル化する世界	ベルリンの壁の崩壊、ポスト冷戦、同時多発テロを経て、変貌する世界の諸地域の現状を考察し、未来への模索を行う。	
2月			
3月			

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	日本史B	2	2	詳説日本史（山川出版）	最新日本史図表（第一学習社）

到達目標	開国から第二次世界大戦に至る我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への主体的な取り組みを重視する ・政治・外交・社会経済・文化を関連させ、各時代を概観できるよう工夫する ・学習内容の確実な定着をはかるため、問題演習を定期的実施する ・視聴覚教材などを効果的に利用する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	第9章 近代国家の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀の世界～産業革命と帝国主義～ ・ペリー来航以後の幕末の動乱 ・近代国家誕生の過程 ・日露戦争と韓国併合、満州進出の過程 ・明治期の産業の発展 ・明治文化と教育の普及、科学の発達 ・大正政変～原内閣の国内・国際政策 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立と日清戦争		
6月	3 日露戦争と国際関係 4 近代産業の発展		
7月	5 近代文化の発達 第10章 二つの世界大戦とアジア		
8月	1 第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・1920年代の協調外交と政党政治の展開 ・日本の中国進出、政党内閣の成立 ・パリ講和会議とその影響 ・ワシントン会議と協調外交 ・ジャーナリズムと近代文学 ・明治の芸術 ・大衆文化の誕生 ・戦後恐慌から金融恐慌へ 	
9月	2. ワシントン体制		
10月	3. 市民文化		
11月	4. 恐慌の時代		
12月			
1月	5. 軍部の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ・満州事変、政党内閣の崩壊と国際連盟からの脱退 ・三国防共協定から日中戦争へ ・戦時統制と生活 ・太平洋戦争の始まり、戦局の展開、国民生活の崩壊 	
2月	6. 第二次世界大戦		
3月			

平成28年度 指導と評価の年間計画（大阪府立桜塚高等学校）

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	世界史B	3	3	詳説世界史（山川出版社）	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）

到達目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、世界の文化の多様性と現代世界の特質を、広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> 世界の歴史の大きな枠組みと流れについて、関心を高める。 世界の文化の多様性と現代社会の特質を多角的に考察できる。 諸資料を集め、有用な情報の収集と、社会科学的な観点からの情報選択ができる。 世界の歴史についての基本的事項を理解し、その知識を身に付ける。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	先史の世界 古代オリエント世界	<ul style="list-style-type: none"> 先史の世界とオリエント世界の基本事項を知り、後世への影響を考察する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
5月	ギリシア・ローマ世界	<ul style="list-style-type: none"> 古代ギリシア・ローマの歴史を学び、地中海世界の形成と後世への影響について考察する。 	
6月	西ヨーロッパ、東ヨーロッパ世界の成立	<ul style="list-style-type: none"> 地中海文明の遺産を引き継ぎつつ、キリスト教を基盤とするヨーロッパ世界が成立したことを知り、その特質を考察する。 	
7月	西ヨーロッパ中世世界の変容	<ul style="list-style-type: none"> 中世後期のヨーロッパ世界の変容の過程を学ぶ。 	
8月	アジア・アメリカの古代文明	<ul style="list-style-type: none"> インド、東南アジア、中国、南北アメリカの古代文明の形成過程とその特質を考察する。 	定期考査 出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
9月	内陸アジア世界・東アジア世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア世界の政治や文化の特質について理解するとともに、内陸ユーラシア世界との密接な関係によって形成されたことを知る。 	
10月	イスラーム世界の形成と発展	<ul style="list-style-type: none"> イスラーム教の成立に関する基本的事項を身につけ、イスラーム世界の形成と発展、イスラーム文明の特徴とヨーロッパに対する影響、イラン・トルコ・モンゴル・アフリカ・インドへの拡大について、歴史的意義を考察する。 	
11月	内陸アジア世界の展開 東アジア世界の展開	<ul style="list-style-type: none"> 16世紀から18世紀の内陸アジア世界のトルコ化とイスラーム化について考察する。 	
12月		<ul style="list-style-type: none"> 唐末の混乱を経て、その後の中国社会の変容とそれが周辺諸国にもたらした影響、およびモンゴル帝国の歴史的意義について考察する。 	
1月	アジア諸地域の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> 明・清帝国の歴史を考察しつつ、周辺諸国やヨーロッパ勢力との関係を学ぶ。 ティムール朝、オスマン帝国、サファヴィー朝、ムガル帝国の興亡について考察する。 	出席状況 授業への取り組み

平成28年度 指導と評価の年間計画 (大阪府立桜塚高等学校)

教科	科目	単位数	指導学年	教科書名	副教材名等
地理歴史	日本史B	3	3	詳説日本史 (山川出版)	最新日本史図表 (第一学習社)

到達目標	中世から近代に至る我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立ち我が国を取り巻く国際環境などと関連付けて考察させることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
到達目標に向けての具体的な取組 (指導上の留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への主体的な取り組みを重視する ・政治・外交・社会経済・文化を関連させ、各時代を概観できるよう工夫する ・学習内容の確実な定着をはかるため、問題演習を定期的実施する ・視聴覚教材などを効果的に利用する

月	単元・教材名	指導内容	評価方法
4月	第5章 武家社会の成長 4 戦国大名の登場	・ 応仁の乱以後の室町幕府の崩壊、下剋上の風潮の中での戦国大名の台頭を理解する	定期考査
5月	第6章 幕藩体制の確立 1 織豊政権 2 桃山文化 3 幕藩体制の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーロッパ人の来航と織田信長・豊臣秀吉の登場による中世社会から近世社会への変革 ・ 秀吉没後の江戸幕府成立の過程 	出席状況 授業への取り組み 宿題・提出物
6月	第7章 幕藩体制の展開 1 幕政の安定 2 経済の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家光による幕藩体制の確立、農民・町人への政策、身分制度、宗教 政策の理解 ・ 江戸前期の経済 	
7月	夏季休暇課題	・ 史蹟・博物館レポート	
8月	3元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1 幕政の改革	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳諧・浮世草子など上方を中心とする江戸前半の文化の特徴 ・ 幕府財政再建のための享保・寛政の改革 	
9月	2 幕府の衰退 3 化政文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天保の改革や列強の接近、雄藩のおこり ・ 洒落本・滑稽本など江戸中心を中心とする江戸後期の文化 ・ 国学の発達と社会的影響 	
10月	第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱 2 明治維新と富国強兵 3 日清・日露戦争 4 近代産業の発展 5 近代文化の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・ ペリー来航以後の幕末の動乱 ・ 近代国家誕生の過程 ・ 日清・日露戦争と韓国併合、満州進出の過程 ・ 明治期の産業の発展 ・ 明治文化 	
11月	第10章 1. 第一次大戦と日本 2. ワシントン体制 3. 市民文化 4. 恐慌の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大正政変～原内閣の国内・国際政策 ・ 1920年代の協調外交と政党政治の展開 ・ 都市化と大衆文化の成立 ・ 震災恐慌と金融恐慌 	
12月			
1月	二つの世界大戦とアジア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次世界大戦と日本 ・ ワシントン体制 	
2月			
3月			